

令和三年度



三宅村立三宅中学校

学校だより

第 153 号

令和 3 年 12 月 1 日

校長 小澤 秋仁

東京都三宅島三宅村伊豆 470

TEL 04994-2-0049

FAX 04994-2-1376

<http://miyake-chu.sakura.ne.jp/>

小さくない命

副校長 櫻井 勉

2 人目の命を授かったと知って間もなく、妻は緊急手術となりました。受精卵が子宮ではなく卵管に着床してしまう「子宮外妊娠」でした。手術が終わり、深夜の待合室でうなだれていた私のもとに、ベテランの看護師長さんが歩み寄り、優しい言葉をかけてくれました。そこで、保健体育の教員として妊娠や出産についてのそれなりの知識はもっているつもりだった私は師長さんに一つの質問をしました。

～月経のしくみ～

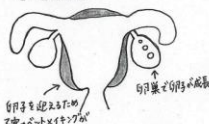
三宅高等学校「保健だより 9 月号」より

女性のカラダはおよそ月に 1 回の周期で、妊娠に備えて卵子が育ち、受精卵のベッドとなる子宮内膜を着床しやすい状態に整えます。

月経(生理)は、この子宮内膜がはがれ落ち、それにもなっ出て出血が起きる現象のことを言います☆



① 卵胞期



② 排卵期



「片方の卵管が切除されてしまったということは、これからは命を授かるチャンスは 2 か月に 1 回ということですね？」

すると師長さんは優しく微笑みながらこう言いました。「そうじゃないのよご主人。卵管が閉じてしまった側の卵巣から飛び出した卵子は、お母さんの腹腔(おなかの中の空間)をゆっくりゆっくり移動して、自分の力で反対側の卵管に入るの。」

自分のちっぽけな知識と想像をはるかに超えた壮大な「命の力」に圧倒され、妻の命が救われた安堵感と、一つの命を失った喪失感でぐちゃぐちゃになっていた感情が、一気にあふれ出していくのを止めることはできませんでした。

数日後からは、3 歳の息子を幼稚園に送り届けてから出勤、夕方の部活動指導を一旦抜けて延長保育終了の 5 時に滑り込みで引き取り。息子を連れて学校に戻り部活動指導を終えると病院へ急ぎ、わずかな時間の面会をするというあわただしい日々が始まりました。

面会可能となった初日、思っていたより母親が元気そうだったからか、息子は終始ご機嫌で、はしゃぎながら母親を笑わせるようなおふざけばかりしていました。面会終了の時間になり、私と二人でエレベーターに乗り込んだ息子は、点滴スタンドを持って見送る妻に向かって、ドアが閉まるギリギリまで「ママ！おならブゥ～」などとおどけた姿を見せていました。ドアが閉まり、下り始めたエレベーターの中で、やっぱり子供なんだな、とほっとしな

教育目標

「ふるさとの発展に進んで貢献する生徒の育成」

- 1 目標をもって意欲的に学ぶ生徒
- 2 人間性・社会性をはぐくみ、相手の立場に立って行動する生徒
- 3 心身ともに健康で明るい生徒

がら「ママが元気そうでよかったね。夕飯は何にしようか？」と問いかけたのですが反応がありません。ふと隣を見下ろすと、そこにはこぶしをぎゅっと握りしめ、大粒の涙をぼろぼろと流す幼子の姿がありました。

「ママにあいたいよお～」

しほり出すようなつぶやきに不意をつかれ、潤んでいった夜道の風景とともに、大人の感覚では想像もできない「幼い心」の奥深さに触れたあの瞬間を、これからも忘れることはないでしょう。



大人になるにつれて、自分の子供時代の感情や感覚は記憶から薄れていくため、子どもの行動や思考は「幼いもの」「未熟なもの」だと単純に想像してしまいがちです。でも、その瞬間を生きている子供の心は、新鮮で複雑で、もっと奥深いものです。ダメなことはダメ、やるべきことはやるものだとして正しく導きつつ、そんな子供の心に寄り添い、子供の心から学ぶ姿勢をもち続けられる大人でありたいものです。

「小さな命」とよく言いますが、若くて容姿が小さいだけで、命の価値に大小があるはずはありません。「子供は大人を小型化したものではない。」ルソーのこの言葉と出会う前に、私は二つの、決して小さくはない命から大切なことを教わっていました。

そして、あのお見舞いの日から 3 年経った頃、泣き虫だった息子はお兄ちゃんになっていました。

12月の生活目標

1年間の振り返りをしよう

12月の保健目標

体力づくりをしよう

◆学校だよりカラー版はホームページでご覧になれます。

文化祭(10月30日)

2年ぶりの開催となった今回は、1年生が「郷土理解学習(三宅島の自然・文化・産業)」、2年生が「職場体験学習」、3年生が「修学旅行事前学習」について発表しました。また、各部活動が今年度の活動報告を行い、吹奏楽部は演奏を披露しました。どの発表も画像などを効果的に使い、寸劇のような要素も加えるなど、観る人を楽しませる工夫が盛り込まれていました。



生徒の感想より

◆頑張ったことは、チームで協力して発表を成功させたことです。本番は緊張したけれどもうまくできました。2. 3年生はスライドの工夫や表現の仕方がとてもよかったので、来年はそれ以上を目指して頑張りたいです。(1年生)

◆準備でみんなを引っ張ってくれた人や司会で盛り上げてくれた人がいて、それぞれの班が内容や時間を細かく考えてくれたおかげで成功できた。全員が頑張ったと思う。(2年生)

◆今年の文化祭を通して学んだことは、人に支えられているということです。トップバッターで発表したときに学年の仲間全員の発表だということを強く感じました。一生懸命準備した分、笑いが絶えない発表になりました。学年の一人一人が任された仕事をこなしていて、中学校最後の良い思い出となりました。(3年生)

◆今回の文化祭ではどの学年もとても輝いていた。輝くには光も必要だが、一人一人の自信が必要だ。あと自分もみんなもスターだと思うことだ。それによって自信がもてて、今後もどんなときでも輝ける人になれると思う。(3年生)

ビーチクリーン活動(11月3日)

前期生徒会役員からの呼びかけで集まったボランティア生徒約20名が伊ヶ谷港周辺の海岸清掃を行いました。協力して20袋近いゴミを回収し、地域に貢献することができました。



2年生農業体験(11月24日)

三宅高等学校の農業科の先生方にご指導いただき、5月に植え付けをした里芋の収穫を体験しました。10月の台風で茎や葉の大部分が吹き飛ばされてしまったにもかかわらず、立派な里芋が土の中で力強く育っていました。12人で収穫した里芋の総重量はなんと約90キロにもなりました。



令和3年12月 主な予定

1日(水)	第2回村学力調査
2日(木)	三者面談始
6日(月)	音楽鑑賞教室
7日(火)	マラソン大会試走⑤⑥
8日(水)	研修会 ⑥カット 14:35 下校
13日(月)	三者面談終
15日(水)	避難訓練 ⑥カット 14:35 下校
16日(木)	専門委員会
17日(金)	1.2年宿泊行事保護者説明会
18日(土)	合同マラソン大会(高校会場)
20日(月)	振替休業日
22日(水)	ビブリオバトル⑥
23日(木)	大掃除
24日(金)	終業式 11:20 下校

※スクールカウンセラー来校予定日
7(火)・15(水)

